

科目名	デジタル演習 8							年度	2026
英語科目名	Digital Exercise 8							学期	後期
学科・学年	CG映像科 2年次	必/選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実技
担当教員	鈴木(靖)、堀尾、小池、柴		教員の実務経験		有	実務経験の職種		映像編集、カメラマン、映像制作ディレクター、作編曲エンジニア	
<b>【科目の目的】</b> Premiere Pro、After Effectsの操作の習熟、及び映像の編集に必要なリズムのとり方、構成力などを身につける。またDaVinci Resolveによるカラーグレーディングのオペレーションも併せて学ぶ。 映像作品の方向性、演出方法をよく把握し、適切な音を用意、編集できるようになること。必要な音素材をどうやって制作すればいいのか、その方法と技術を身につけてあまり時間をかけずに作業ができる用意なること。									
<b>【科目の概要】</b> 多岐に渡るCGアプリを実習を通して学び、コンテンツ制作におけるより高度なデジタル技法を修得します。									
<b>【到達目標】</b> Premiere Pro、Auditionの操作の習熟、及び映像の編集に必要なリズムのとり方、構成力などを身につける。またDaVinci Resolveによるカラーグレーディングのオペレーションも併せて学ぶ。 映像作品の方向性、演出方法をよく把握し、適切な音を用意、編集できるようになること。必要な音素材をどうやって制作すればいいのか、その方法と技術を身につけてあまり時間をかけずに作業ができる用になること。									
<b>【授業の注意点】</b> 本実習は機材を使用した実習が授業の半数となるため、機材を使用する実習は出席必須とする。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	企画内容を発展させ、完成度の高い映像を作成できる		提出要件を満たした課題作品の提出		課題作品が提出できない				
到達目標 B	絵コンテ、字コンテを作成し、映像の完成形を提示することができる		企画概要、リファレンスの提示をドキュメント化できる		作品の企画ができない				
到達目標 C	ソフトウェア間の連携をとりつつ、効率よく制作を進めることができる		基本的な映像、音声の編集、加工のオペレーションができる		ソフトウェアのオペレーションが理解できない				
到達目標 D									
到達目標 E									
<b>【教科書】</b> 必要に応じて授業用のデータを配布する									
<b>【参考資料】</b> 特になし									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 試験・課題50% 作品が各自の企画通りに出来ているか、実習内の技術が正確に反映されているかを評価する 平常点50% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		デジタル演習 8			年度	2026
英語表記		Digital Exercise 8			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	授業進行ガイダンス	使用ソフトウェア、機材の確認とオペレーションの復習	1 映像編集	映像編集のソフトウェアが扱える	1	
			2 カメラの操作	業務用カメラの基本操作を理解する		
2	映像編集 1	ショートドラマ素材の編集 1	1 映像素材の取り込み	映像素材を整理し、ソフトウェアに取り込む	1	
			2 プロジェクト設定	素材に合わせて、編集用プロジェクトを設定する		
3	映像編集 2	ショートドラマ素材の編集 2	1 カット編集	タイムラインに素材を展開し、編集を行う	1	
			2 映像出力	編集後の映像を適切なフォーマットで書き出す		
4	サウンド基礎 1	効果音の編集、セリフ・ナレーションなどの音声の加工	1 効果音の加工	音声素材のノイズリダクション、ピッチの変更などの加工方法	1	
			2 セリフ・ナレーションの調整	セリフのノイズリダクション、タイミング、音量の調整方法		
5	サウンド基礎 2	MA作業	1 ミキシング	効果音、BGM、セリフのミキシングの理解	1	
			2 音声出力	ミキシングした音声のデータの適切な音量での出力方法		
6	映像撮影と音声収録 1	高データレートの映像撮影と音声収録 1	1 収録フォーマットの設定	収録データレート、カラーモード、フレームレートの設定方法	1	
			2 Log撮影	LogとLutの設定方法		
7	映像撮影と音声収録 2	高データレートの映像撮影と音声収録 2	1 マイクとミキサーの設定	音声収録環境の設定方法を理解する	1	
			2 収録スタジオでの録音	収録スタジオでの収録方法を理解する		
8	DaVinci Resolve操作基礎	DaVinci Resolveの基本的な操作方法を理解する	1 ソフトウェアの環境設定	ソフトウェアの動作環境、データベースの構築方法	1	
			2 素材の取り込みとカラー設定	映像素材の取り込みとデータベースの整理方法		
9	DaVinci Resolveでのカラーグレーディング1	DaVinci Resolveによるカラーグレーディングのオペレーションを理解する	1 カラーコレクション	カット毎のカラーコレクションを理解する	1	
			2 ホワイトバランス調整	カット毎のホワイトバランス調整方法		
10	DaVinci Resolveでのカラーグレーディング2	DaVinci Resolveによる画像データのフォーマット及び書き出しを理解する	1 カラーグレーディング	カラーコレクションによる映像演出を理解する	1	
			2 映像出力	カラーコレクション作業後の映像データの出力方法		
11	映像編集/サウンド実践 1	映像と音声のマッチング 1	1 映像素材の取り込み	編集作業後の映像素材の取り込み方法	1	
			2 音声素材の取り込み	編集作業後の音声素材の取り込み方法		
12	映像編集/サウンド実践 2	映像と音声のマッチング 2	1 映像と音声の調整	映像と音声のタイムライン上でのタイミング、音量の調整方法	1	
			2 カラーバランスの確認と出力	最終的なカラーバランスの調整と納品用のデータ出力方法		
13	最終課題制作1	2年次修了制作、個人制作作品の再編集	1 映像素材の準備	編集用映像素材を準備する	1	
			2 リファレンス、コンテの準備	リファレンスの収集と絵コンテ、字コンテを準備する		
14	最終課題制作2	2年次修了制作、個人制作作品の再編集	1 ブレイクダウンの作成	映像、音声素材からブレイクダウン映像を作成する	1	
			2 デモリールの出力	加工、編集後の映像作品をの出力方法		
15	最終課題制作3	最終講評	1 作品プレゼンテーション	完成作品のプレゼンテーションを行う	2	
					3	

評価方法：1. 課題提出、2. 作品の完成度、3. 出席率

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等 指定の実習室・教室で受講する。